

散瞳・無散瞳眼底カメラ VISUCAM NMFA

カールツァイスメディテック株式会社
伊藤 善明

世界ではじめて眼底カメラを世に送り出したのはカールツァイスである。伝統的なテレセントリック方式、高い解像度を誇る光学系を用いてハイクオリティな眼底画像を提供してきた。この光学系の特長をそのままに、より使いやすく、簡便に高品質な眼底画像を得られるのが VISUCAM NMFA である。

◆ コンパクトなハードウェア・シンプルなワークフロー

カメラ本体と PC 部は一体化しており、コンパクトにまとまっている。撮影モードをクリック・大型の PC モニター上で撮影部位のアライメント・撮影、という非常にシンプルな操作体系である。こまかなコツも不要で検者の経験値に依存せず、だれにでも高品質な眼底写真を撮影することができる。

◆ 各種の撮影を 1 台で

カラー、RGB フィルター撮影、FAG 蛍光眼底造影といった基本的な撮影方式にくわえて、いま話題の眼底自発蛍光 (FAF) 撮影が標準で装備されている。また、オプションライセンスで ICG 蛍

光眼底造影も可能になる。基幹病院におけるセカンド機、または一般病院・開業医におけるメイン機などとして、VISUCAM はさまざまなシーンで活用できる。

◆ MPOD (黄斑色素密度)

黄斑部を青色光から保護する役目を果たす黄斑色素が注目を浴びている。大規模調査などからルテイン・ゼアキサンチンといった黄斑色素と AMD (加齢黄斑変性) との関連が示唆されているためである¹⁾。VISUCAM は眼底反射法により黄斑色素密度 (MPOD) を他覚的に計測できる唯一の機器である (オプション)。通常の眼底写真撮影と同じワークフローでの MPOD 計測用の撮影が可能だ。サプリメント摂取の効果測定や AMD リスクの高い患者のモニタリングなどに今後期待がもたれる機能である。

参考文献

Age-related Eye Disease Study Research Group: The relationship of dietary carotenoid and vitamin A, E, and C intake with age-related macular degeneration in a case-control study. AREDS Report 22. *Arch Ophthalmol*, 2007, **125**: 1225-1232.



図1 器械外観



図2 FAF (眼底自発蛍光) 画像



図3 MPOD (62 ページ参照)